

西原東中なごなた部  
全国で大活躍

西原東中学校なごなた部が、7月22日、23日に開催された第25回全国中学生なぎなた大会において、各部門で優秀な成績を収めました。  
仲宗根早希主将は「選手全員が練習の成果を発揮することができました。また、3年生は最後の大会に悔いのない試合をすることができてよかったです」と大会を振り返りました。  
「演技競技」2位：砂川奈央・山田望来  
「試合競技、個人」4位：山田蒼彩  
「試合競技、団体」3位：西原東中学校



宮平姉妹  
なぎなたで全国3位

宮平沙和さん(西原小6年写真中央)、宮平奈沙さん(同小4年写真左から2番目)が全日本少年少女武道なぎなた錬成大会(8月6日、日本武道館)において、演技競技の小学5・6年生の部で3位(敢闘賞)に入りました。  
沙和さんは「日本武道館は広く、人が多いので緊張したけど、練習どおりの演技ができて3位になったので嬉しいです。大会の経験をいかし、今後がんばります」と喜びと今後の意気込みを話しました。



おいしく  
できたよ

親子で学ぶ料理講習会(西原町生活研究会主催)が8月14日に中央公民館で開かれ、ゴーヤーチャップルー、おいなり、鶏のから揚げ、かぼちゃスープ、ホットケーキをつくりました。  
子どもたちは、から揚げづくりでは油がねないように鶏肉を慎重に鍋に入れ、ホットケーキづくりでは丸いかたちをくずさないよう上手にひっくり返していました。できあがった料理を囲んだ昼ごはんでは、あつという間に完食していました。



おいしい水  
飲んで幸せ  
感しやいっぱい

西原浄水場や倉敷ダムの見学を行った町立小学校の4年生を対象に募集した作文・標語の表彰式が、9月1日に議場で行われました。作文・標語の募集は、水道に対する理解と関心を深め、限りある水資源の有効利用をアピールすることを目的としています。  
作文の部では、伊敷美南さん(西原南小)、標語の部では赤嶺星月さん(西原小)が最優秀賞を受賞しました。  
※タイトルは赤嶺さんの標語です。



下水道  
水が自然に  
かえる道

中城湾南部流域下水道促進協議会(西原町、南城市、与那原町、中城村)による車両広報パレードが、9月7日に行われました。  
パレードの出発地である西原町を代表して小橋川明副町長は「下水道の普及と接続率のさらなる向上を図るため、4市町村で協力して取り組んでいきたいと思います」と述べました。  
また、町民広場では下水道接続の大切さを伝えるパネル展、役場正面玄関ではバガス堆肥の配布が行われました。  
※タイトルは平成29年度の下水道推進標語です。



下水道マスコットキャラクター「スイセイ」

新記録、続出

第38回西原町陸上競技大会が9月9日、10日に、西原町民陸上競技場で行われ、23行政区から多くの選手が出場し、各種目で熱戦が繰り広げられました。8種目で大会記録が出て、なかでも城間徹弘さんが30代走高跳の部で西原町記録を更新し、大会は大いに盛り上がりしました。

2日間にわたる競技の結果、我謝チームが完全優勝(男子・女子・総合の部で優勝)を達成しました。  
※大会結果は11ページに掲載しています。



城間徹弘さんの跳躍

防災意識を  
子どもたちに

防災意識の高揚と少年期における災害時の対応・災害予防の重要性を感じてもらうことを目的として、ファイヤーフェスティバルが、8月26日に東部消防本部消防署で行われました。東部消防管内の西原町・南風原町・与那原町の小学生86名が参加し、消防士のサポートのもと、はしご車や消火器放水などを体験しました。  
はしご車体験では2階を超える高さまであつという間に上がるはしごに興奮し、救助体験では友達を救うための限りロープを引っ張り、救助体験では一生懸命に心臓マッサージを行っていました。



元サッカー日本代表  
高原選手、来たる

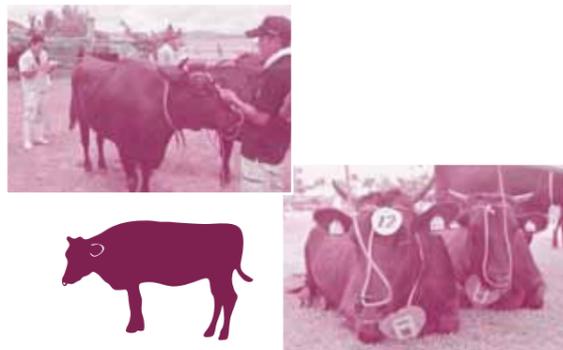
社会人サッカーチーム沖縄S.V.の選手兼監督で代表も務める元サッカー日本代表選手の高原直泰氏が、練習場所の一つである本町を8月26日に訪れ、上間明町長を表敬しました。  
高原氏は「社会人サッカーの県大会で優勝し、九州大会も突破することができました。いずればJリーグに加盟することを目標とし、さらなる練習に励みます」と決意を語りました。

今後、沖縄S.V.の活躍やサッカーキャンプの誘致により、高原選手をはじめ日本代表選手の華麗で迫力あるプレーが本町で観戦できることが期待されます。



自慢の牛が  
せいぞろい

西原町の畜産農家が丹精込めて飼育した牛を品評する西原町畜産共進会が、8月23日に東崎都市緑地(イルカ公園)で開催されました。5部門に計26頭が出品され、発育度(体重や体高)や栄養度(脂肪の付き具合)などを評価基準として審査されました。  
午後4時以上のひとときわ大きな牛が出品された成雌2頭の部では、翁長正弘さん(宇幸地)が飼育する「ゆりゆり」が優等(1位)に相当に選ばれました。「ゆりゆり」をはじめ8頭は、西原町代表として中部地区の共進会(9月27日開催)に出場します。



二輪車に  
ロックを

浦添地区防犯協会(山城文字会)から西原町へ、二輪車の盗難防止に使う「U字ロック」が寄贈されました。山城会長は「地域の防犯意識の向上、事件事故の減少のため、U字ロックを活用してください」と述べました。上間明町長は「今後も連携し、盗難防止に取り組みましよう」と感謝と防犯強化の決意を伝えました。

※今年度の浦添警察署管内の盗難の認知件数は、オートバイ32件、自転車51件、車3件です(8月31日時点)

